

令和6年度 知立南中学校の教育

1 本校の教育目標

校訓「志学 共励 友愛」を基盤にして、めざす生徒像を次のように定め、心身ともに健康で明るく、豊かな感性や知性、実践力をもった生徒を育成する。

- 本気で学ぶ生徒（知）… 自分の夢や目標にむかい、課題を見いだし自ら解決する姿
- 豊かな心を持つ生徒（徳）… 多様な個性や考えを認め共感し、自己有用感あふれた姿
- 心と体を鍛えるたくましい生徒（体）… 自らの心と体を理解し、夢や目標をあきらめない姿

2 経営方針

- (1) 地域とともに、職員と生徒の創意と工夫による主体的な学校づくり
- (2) 確かな学力と問題を解決する資質や能力の向上を目指した授業づくり
- (3) 多様性や共生を生かした人権教育、道徳教育、豊かな心の育成
- (4) たくましく生きるための心身の健康、体力の向上

3 令和6年度の重点努力目標

- (1) 確かな学力を育む教育
 - ・ 生徒の主体的な学びの中で、個を生かした誰もがわかる楽しい授業をめざし、基礎的・基本的な学力の定着をはかるとともに、活用力やコミュニケーション能力、問題を見いだし解決する資質や能力の向上に努める。
 - ・ ICT機器を十分に有効活用した個別最適な学びの実現や学びの多様性をめざし、少人数指導授業の指導体制の充実、学習方法・学習形態や教材の工夫に取り組む。
 - ・ 外国人生徒の日本語指導を充実させるため、個の習熟度を的確に把握した上で、多文化共生を生かした指導体制と指導方法の工夫を図る。
- (2) 豊かな人間性を育む教育
 - ・ あいさつ、時間、身なり等の基本的な生活習慣が身に付いた、互いに気持ちよく過ごすことのできる雰囲気の学校をつくる。
 - ・ キャリア教育や道徳教育・人権教育を総合的に見直し、多様な個性、文化、社会を大切にする教育を推進し、自己肯定感や他者理解を深め、自他の命を大切にする態度を育てる。
- (3) 健康や体力を育む教育
 - ・ 地域や家庭と連携し、生徒が自分自身の心や体について客観的に把握できる指導を心がけ、自分の心身の健康や体力の向上に意欲をもてるよう努める。
- (4) きめ細かな指導の充実 (校内教育支援センターの立ち上げ)
 - ・ 個々の生徒の教育的ニーズを的確に把握し、外国人生徒への日本語指導、特別な支援を必要とする生徒への指導、教室に入れない生徒や不登校生徒へ居場所づくりと対応等の充実を図る。
 - ・ いじめや不登校等の早期発見と迅速な対応、適切な指導に努める。
- (5) 学校・家庭・地域との連携の推進 (コミュニティ・スクールの推進)
 - ・ 地域と協働のもと学区にある小学校とも連携しながら、外部指導者や外部ボランティアを積極的に活用したり生徒が地域に働きかけたりしながら、地域を愛する自主的・実践的な態度の育成を図る。
 - ・ 地域とともに、防災・防犯教育の充実と実践的な安全教育を推進し、「自助」から「共助」の意識を高め、さらには「公助」の理解を深める。
- (6) 教職員の資質向上と働き方改革の推進
 - ・ 現職研修の充実を図るとともに、生徒理解や授業力などの自己の研究課題を実践する。教職員の心身の健康を保持するため、学校業務の見直しと改善や職員の意識改革に取り組む。また、短い時間や負担の少ないやり方で教育的効果を生みだせるように、教職員が創意工夫しアイデアを出し合い実践する。各職員の能力を生かした職務分担に心がけ、チームで支援をしながら資質向上を図る。

令和6年度 知立南中学校 「志学 共励 友愛」

保護者・地域・関係諸機関との信頼関係の構築

教育委員会の支援

保護者・地域との連携

- ・コミュニティ・スクールの推進
- ・生徒主体の各種行事の開催
- ・地域行事への参加
- ・情報発信(各種たより、HP)

関係諸機関との連携

- ・密な連絡、報告、相談
- ・情報の共有・連携、行動連携

自己肯定感・自信にあふれる生徒

居場所づくり、絆づくり

- ・全員が参加、活躍できる授業
- ・自己存在感・自己有用感を実感できる学級
- ・認め合い、高め合う集団
- ・充実感を味わえる学校行事
- ・充実した体験活動
- ・生徒全員でつくる生徒会活動

確かな学力

- ・分かる授業、個を生かす授業、協働的な学び
- ・基礎・基本の定着 ・ICT機器の有効活用
- ・主体的、対話的で深い学び
- ・きめ細かな指導の充実

心身の健康

- ・体力の向上 ・命の大切さ
- ・健康、安全に関する知識・理解・実践

現状

<教職員>

- ・真摯に取り組む職員→逆に多忙化にも
- ・若手職員の増加→活気 ノウハウの継承
- ・生徒対応や保護者対応の難しさ
- ・職員の指導方法や価値観の多様化

<生徒>

- ・明るく素直な生徒、落ち着いた雰囲気
- ・多様な環境にあるさまざまな生徒たち
- ・学力、学習意欲の二極化
- ・**不登校生徒の増加** 人間関係のトラブル
- ・<保護者・地域>
- ・多様性・共生、価値観の複雑化、多様化

全教職員の協力・創意

チーム
南中

生徒と向き合う
教職員

生徒指導

- ・共感的人間関係を基にした生徒理解
- ・常に生徒の側に寄り添いながらの指導
- ・事後指導でなく事前指導
- ・全職員の共通理解、同じベクトル
- ・基本的生活習慣を身に付けた生徒の育成
- ・保護者、地域、関係機関との連携
- ・いじめ・不登校の未然防止、復帰に向けての対応

指導・取組の実際

- ・道徳の時間の充実
- ・多様性、共生を生かした取組
- ・日々の日常生活の中での指導
- ・人権週間の取組
- ・多様な価値観にふれる取組

目指す姿

<教職員>

- ・やりがいと温かみのある学校
- ・共通の認識をもち互いにフォローし合える
- ・温かみのあるよりそった指導ができる
- ・健康的で多忙感を覚えない職員室

<生徒>

- ・自ら考え進んで動く前向きな姿勢
- ・達成感・充実感を味わえる
- ・授業がわかる、授業が楽しい
- ・自己有用感、互いが認め合える教室
- ・仲間とのかかわりが楽しい学校生活

<保護者・地域>

- ・学校への信頼・期待・協力・協働

多様性の尊重、人権感覚の高揚・実践力の高まり、寛容性

教職員の意識・取組

- ・自分も他の人も大切、認め共に生きていくという意識
- ・「いじめ、差別は許さない」という強い姿勢
- ・人権感覚の育成、人権に関する理解
- ・「実践力」の高まりを意識した取組の展開
- ・家庭、地域との連携、体験的な活動
- ・授業を通して人権感覚・実践力を育てる取組